

トランプ登場

パトカーを後ろから見た形をし
た看板標識を夜の道路沿いで見か
け、ドキッとした経験のあるドラ
イバーは少なくないはず。そんな
アイデア製品「パト看板」を開発
したメーカー社長を訪ねた。

——まず、「パト看板」誕生
のきっかけを教えてください
警越自動車道建設後の19
93年に、当時の福島県警高
速隊長のアイデアを元にして
作ったんです。その後、95年
度に茨城県の新市場製品開発
支援事業の補助金を受け、改
めてパト看板を商品化しまし
た。県内の警察署でも使用し
てもらおうようになり、今では
北海道から九州まで全国で使
われています。

——なぜ、交通関係の看板に
興味を持たれたのですか
三十数年前、親類が水戸市
内で、歩道に乗り上げた車に
ひかれて大けがをしたんで
す。今でも後遺症のために薬
を飲んでいます。そんな姿を
見て、少しでも事故防止の役
に立てたらと思って、交通安
全の看板を作り始めました。

——パト看板は夜も昼も効果
的ですね
どうせなら、昼も夜も使える方
がいい。昼は標語で交通安全を呼
び掛け、夜は蛍光塗料でパトカー
や警察官の姿が浮かび上がるよ

移動できる「パト看板」開発

うにしてみたら好評だったんで
す。現在は交通関係以外にも「ゴ
ミは指定日に出しましょう」とい
う看板を作成中。近く発売予定で
す。

——パト看板は県内で何基ぐ
らい設置されているんですか
約3000基ですね。設置
後、事故が減った道路もある
ようです。事故がないのが一
番だから、うれしくなりまし
たね。

——看板にはどんな工夫がし
てあるんですか
強くて長持ちするように、
建築用で屋根に使うアルミと
亜鉛を混ぜた素材で作ってあ
り、びびりません。しかも、
赤色灯も太陽電池で点灯する
ようにしてあり、特許申請中
です。

——ドライバーがパト看板の
設置場所を覚えてしまったら
効果がなくなるのでは？
最近では、看板を移動できる
仕組みにしてあるんです。そ
の仕組みは企業秘密(笑)。
——今後の事業展開の予定を
教えてください

これから、交通関係に
限らず、新製品を開発してい
きたいですね。毎日楽しくやって
います。

(聞き手は水戸支局・山本亮子)
(毎週水曜日に掲載します)

金属加工業「カワスミ」社長
川隅 利勝さん(63)



(株)カワスミ 前身は川隅社長が水戸市内で1人で始めたねじ工場、1961年に会社設立。現在は同市赤塚に本社を置き資本金1000万円、従業員20人。冷暖房機器などの部品加工と「パト看板」などの自社製品開発が最近の事業の2本柱という。洋画など美術鑑賞と富士山のふもとでゴルフをするのが楽しみ、という。